

漢字は経験をよびおこす信号である

私たちが、幼稚園で漢字を教えていることに対して、幼児に漢字を教えてどれだけの価値があるか、大切なのは思想であって、漢字ではない。……と言う人がいます。ほんとうにそうでしょうか。文章から漢字を取り去ったら、あとに何か残りますか。精神が大切なら、それを宿す肉体を大切にしなければならないように、思想が大切なら、その思想を宿す漢字を大切にしなければなりません。

漢字は、私たちの知っている実体や行なったことのある経験を、頭の中に思い起こすための信号です。漢字を学習することは、実体を見たり、触れたり、経験して、その経験を漢字と結びつけ、漢字を見れば、すぐに実体や経験が頭の中に思い浮かべられるようにすることです。

漢字が信号として速く大脳に伝わり、速くそれに反応できる、それが“頭が良い、”ということなのです。それには、漢字と、それに対応する実体や経験との結びつきを良くすることが必要です。

私の言う“漢字教育”とは、この“漢字と、漢字に対応する実体や経験との結びつきを良くし、漢字が経験を呼び起こすための信号として速く反応できるようにすること”なのです。